

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育支援教室はおづき			
○保護者評価実施期間	R7年12月10日 ~ R8年 1月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	R7年12月15日 ~ R8年 1月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自主的に動ける環境整備、メリハリのある支援内容の提供。	視覚支援にて認識できるよう、「見て分かる」の表示の仕方にしている。活動内での切替えの機会を多く設けながら、意識ができるよう努めている。	自主性を重んじながら意識して動いていけるよう、意識を促していきます。スマールステップで実施し、小さな「できた」を増やしていくよう努めています。
2	集団で活動する事により、社会性、コミュニケーション力等を養う力を持つことができる。	集団の中で必要な人との関わり方などを実際に提供しながら、経験値を増やすように努めている。	集団活動の中での関わり方や支援の仕方など、職員同士が同じ方向を向いて対応できるよう努めています。
3	集団の中での活動であっても個を意識した支援の仕方の提供。楽しみながら参加できる活動プログラム。	集団活動の中においても、個々人の状況等も意識し課題の準備をしている。子どもたち同士での関わりの機会を増やしながら、それぞれで協力しながら身体を動かす機会も設けている。	楽しみながらも達成感が得られるよう、活動内容の充実を図っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会	・放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会を設ける事に需要がなかった事もあり、働きかける事は行わなかった。 ・平日の放課後等デイサービスは、開所時間の関係等で地域との交流の機会が持ちづらい。	事業所内外のイベント等の企画をし、地域の人達との交流が図れるような日を作れるように検討していきます。
2	情報発信の機会の少なさ	必要に応じての情報発信等お知らせを出しているが、定期的に何かを発信していないのが現状である。	事業所からの情報発信を定期的に行う事で共有を図っていきます。
3			